

## 士別市が基本構想で定める営農類型

〔個別経営体〕

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
1 水稲専業	(作付面積等) ・水稲 18.0ha	(資本装備) ・乗用トラクタ(50ps) ・水稲育苗ハウス一式 ・乗用田植機(8条) ・自脱型コンバイン(5条) ・農舎 外 (その他) ・乾燥調製は農協施設利用 ・育苗、移植、収穫の共同作業による省力化 ・高性能機械の導入等による作業能率の向上	・複式簿記記帳の実施 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理	・高性能機械の導入による作業時間の短縮 (家族労働力) ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人
2 水稲+野菜	(作付面積等) ・水稲 3.4ha ・南瓜 1.0ha ・ブロッコリー 1.0ha ・玉葱 2.0ha ・グリーンアスパラ(ハウス立茎) 0.1ha ・休閒緑肥 1.0ha 計 8.5ha	(資本装備) ・乗用トラクタ(50ps) ・水稲育苗ハウス一式 ・玉葱育苗ハウス一式 ・農舎 外 (共同利用) ・乗用田植機(6条) ・自脱型コンバイン(4条) ・玉葱移植機 ・玉葱収穫機 外 (その他) ・乾燥調製は農協施設利用 ・高性能機械の導入による作業能率の向上 ・堆肥を活用した地力の維持増進	・複式簿記記帳の実施 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理	・農作業の共同化等による作業時間の短縮 ・野菜の省力化技術の導入 (家族労働力) ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
3 水稲+畑作	(作付面積等) ・水稲 5.5 ha ・大豆 1.25 ha ・馬鈴しょ(生食) 2.5 ha ・てん菜 2.5 ha ・秋小麦 2.5 ha ・小豆 1.25 ha <hr/> 計 15.5 ha	(資本装備) ・乗用トラクタ(80ps) ・水稲育苗ハウス一式 ・てん菜育苗ハウス一式 ・農舎 外 (共同利用) ・乗用田植機(6条) ・汎用コンバイン ・ポテトプランタ ・ポテトディガー ・てん菜移植機 ・てん菜収穫機 外 (その他) ・乾燥調製は農協施設利用 ・高性能機械の導入による作業能率の向上 ・堆肥を活用した地力の維持増進 ・輪作体系の確立	・複式簿記記帳の実施 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理	・農作業の共同化等による作業時間の短縮 (家族労働力) ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人
4 水稲+畑作+野菜	(作付面積等) ・水稲 4.0 ha ・秋小麦 1.0 ha ・大豆 1.0 ha ・玉葱 1.5 ha ・グリーンアスパラ(露地) 0.5 ha ・ブロッコリー 1.0 ha ・休閒緑肥 1.0 ha <hr/> 計 10.0 ha	(資本装備) ・乗用トラクタ(50ps) ・水稲育苗ハウス一式 ・玉葱育苗ハウス一式 ・農舎 外 (共同利用) ・乗用田植機(6条) ・自脱型コンバイン ・玉葱移植機 ・玉葱収穫機 外 (その他) ・乾燥調製は農協施設利用 ・高性能機械の導入による作業能率の向上 ・堆肥を活用した地力の維持増進 ・輪作体系の確立	・複式簿記記帳の実施 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理	・農作業の共同化等による作業時間の短縮 ・野菜の省力化技術の導入 (家族労働力) ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
5 畑作専業 (純畑)	(作付面積等) ・春小麦 2.5ha ・秋小麦 2.5ha ・大豆 2.5ha ・小豆 2.5ha ・てん菜 2.5ha ・馬鈴しょ(加工) 2.5ha ・馬鈴しょ(生食) 2.5ha <hr/> 計 17.5ha	(資本装備) ・クローラトラクタ ・水稻育苗ハウス一式 ・てん菜育苗ハウス一式 ・農舎 外 (共同利用) ・乗用田植機(6条) ・汎用コンバイン ・ポテトプランタ ・ポテトディガー ・てん菜移植機 ・てん菜収穫機 外 (その他) ・乾燥調製は農協施設利用 ・高性能機械の導入による作業能率の向上 ・堆肥を活用した地力の維持増進 ・輪作体系の確立	・複式簿記記帳の実施 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理	・農作業の共同化等による作業時間の短縮  (家族労働力) ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人
6 畑作専業 (転作)	(作付面積等) ・春小麦 2.0ha ・秋小麦 2.0ha ・大豆 2.0ha ・小豆 2.0ha ・てん菜 2.0ha ・馬鈴しょ(加工) 2.0ha ・馬鈴しょ(生食) 2.0ha <hr/> 計 14.0ha	(資本装備) ・クローラトラクタ ・水稻育苗ハウス一式 ・てん菜育苗ハウス一式 ・農舎 外 (共同利用) ・乗用田植機(6条) ・汎用コンバイン ・ポテトプランタ ・ポテトディガー ・てん菜移植機 ・てん菜収穫機 外 (その他) ・乾燥調製は農協施設利用 ・高性能機械の導入による作業能率の向上 ・堆肥を活用した地力の維持増進 ・輪作体系の確立	・複式簿記記帳の実施 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理	・農作業の共同化等による作業時間の短縮  (家族労働力) ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
7 畑作+野菜	(作付面積等) ・秋小麦 2.0ha ・てん菜 2.0ha ・馬鈴しょ(生食) 2.0ha ・大豆 2.0ha ・玉葱 2.0ha 計 10.0ha	(資本装備) ・乗用トラクタ(80ps) ・てん菜育苗ハウス一式 ・農舎 外 (共同利用) ・汎用コンバイン ・ポテトプランタ ・ポテトディガー ・てん菜移植機 ・てん菜収穫機 外 (その他) ・乾燥調製は農協施設利用 ・高性能機械の導入による作業能率の向上 ・堆肥を活用した地力の維持増進 ・輪作体系の確立	・複式簿記記帳の実施 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理	・農作業の共同化等による作業時間の短縮 ・野菜の省力化技術の導入 (家族労働力) ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人
8 野菜専業	(作付面積等) ・グリーンアスパラ(露地) 0.5ha ・グリーンアスパラ(ハウス立茎) 0.05ha ・ブロッコリー 1.0ha ・南瓜 1.0ha ・玉葱 1.4ha ・さやえんどう 0.05ha ・休閒緑肥 1.0ha 計 5.0ha	(資本装備) ・乗用トラクタ(50ps) ・玉葱育苗ハウス一式 ・農舎 外 (共同利用) ・玉葱移植機 ・玉葱収穫機 外 (その他) ・高性能機械の導入による作業能率の向上 ・堆肥を活用した地力の維持増進 ・栽培体系の確立による労働力の時期別平準化 ・輪作体系の確立	・複式簿記記帳の実施 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理	・農作業の共同化等による作業時間の短縮 ・野菜の省力化技術の導入 (家族労働力) ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
9 水稲 + 肉牛	(作付面積等) ・水稲 18.0ha ・飼料作物 15.0ha <hr/> 計 33.0ha  (飼養頭数) ・繁殖牛(黒毛和種) 12頭 ・育成牛 8頭 <hr/> 計 20頭	(資本装備) ・乗用トラクタ(50ps) ・自脱型コンバイン ・水稲育苗ハウス一式 ・農舎 外 (その他) ・水稲と繁殖肥育一貫を組み合わせた複合経営 ・乾燥調製は農協施設利用 ・高性能機械の導入による作業能率の向上 ・輪作体系の確立	・複式簿記記帳の実施 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理	・農作業の共同化等による作業時間の短縮  (家族労働力) ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人
10 畑作 + 肉牛	(作付面積等) ・春小麦 1.5ha ・秋小麦 1.5ha ・大豆 1.5ha ・小豆 1.5ha ・てん菜 1.5ha ・馬鈴しょ(加工) 1.5ha ・馬鈴しょ(生食) 1.5ha ・飼料作物 15.0ha <hr/> 計 25.5ha  (飼養頭数) ・繁殖牛(黒毛和種) 12頭 ・育成牛 8頭 <hr/> 計 20頭	(資本装備) ・乗用トラクタ(50ps) ・乗用田植機(6条) ・自脱型コンバイン ・水稲育苗ハウス一式 ・農舎 外 (共同利用) ・ビーンスレシャー ・ポテトプランタ ・ポテトディガー ・てん菜移植機 ・てん菜収穫機 外 (その他) ・畑作物と繁殖肥育一貫を組み合わせた複合経営 ・乾燥調製は農協施設利用 ・高性能機械の導入による作業能率の向上 ・堆肥を活用した地力の維持増進 ・輪作体系の確立	・複式簿記記帳の実施 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理	・農作業の共同化等による作業時間の短縮  (家族労働力) ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
11 畑作+酪農	(作付面積等) ・秋小麦 1.5ha ・大豆 1.5ha ・てん菜 1.5ha ・馬鈴しょ(生食) 1.5ha ・飼料作物 21.0ha 計 27.0ha  (飼養頭数) ・経産牛 20頭 ・育成牛 16頭 計 36頭	(資本装備) ・牛舎 ・乗用トラクタ ・バルククーラー ・農舎 外 (共同利用) ・ビーンハーベスター ・ポテトプランタ ・ポテトディガー ・てん菜移植機 ・てん菜収穫機 外 (その他) ・畑作物と酪農を組み合わせた複合経営 ・乾燥調製は農協施設利用 ・高性能機械の導入による作業能率の向上 ・堆肥を活用した地力の維持増進 ・輪作体系の確立	・複式簿記記帳の実施 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理	・農作業の共同化・ヘルパーによる作業時間の短縮 ・ヘルパー活用による省力化  (家族労働力) ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人
12 酪農専業 (40頭型)	(作付面積等) ・採草地 30.0ha ・サイレージ用とうもろこし 7.0ha 計 37.0ha  (飼養頭数) ・経産牛 40頭 ・育成牛 21頭 計 61頭	(資本整備) ・牛舎 ・乾燥舎 ・バルククーラー ・飼料調整機械一式 外  (その他) ・ヘルパーの活用 ・堆肥舎を活用した堆肥生産とその草地への利用還元 ・育成牛は公共牧場利用	・複式簿記記帳の実施 ・乳検データの活用 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理	・農作業の共同化・ヘルパーによる作業時間の短縮 ・ヘルパー活用による省力化  (家族労働力) ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
13 酪農専業 (120頭型)	(作付面積等) ・採草地 64.0ha ・サイレージ用とうもろこし 17.0ha 81.0ha  (飼養頭数) ・経産牛 120頭 ・育成牛 65頭 計 185頭	(資本整備) ・牛舎 ・搾乳舎 ・育成舎 ・乾草舎 ・カーフハッチ ・スーパーハッチ ・バルククーラー ・TMRミキサー ・パンカーサイロ ・飼料調整機械一式 外  (その他) ・フリーストール・ミルク ングパーラーによる搾 乳 ・コントラクタ活用 ・スラリーストアーを活用 した液肥生産とその草 地への利用還元 ・育成牛は公共牧場利用	・複式簿記記帳の 実施 ・パソコンによる 経営計画、労務、 財務、ほ場管理	・家族労働の作 業分担制 ・臨時雇用活用 による省力化  (家族労働力) ・主たる従事者 2人 ・補助従事者 1人
14 肉牛専業 (専用種肥育素 牛出荷経営)	(作付面積等) ・採草地 14.0ha  (飼養頭数) ・繁殖牛 40頭 ・肥育牛 22頭 常時飼養頭数 62頭	(資本整備) ・牛舎 ・乾草舎 ・堆肥盤 ・乗用トラクタ(50ps) 外  (その他) ・堆肥舎を活用した堆肥生 産とその草地への利用 還元	・複式簿記記帳の 実施 ・パソコンによる 経営計画、労務、 財務、ほ場管理	・家族労働の作 業分担制 ・臨時雇用活用 による省力化  (家族労働力) ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
15 肉牛専業 (乳用種肥育出荷経営)	(作付面積等) ・採草地 30.0ha  (常時飼養頭数) ・ホル雄牛 300頭	(資本整備) ・牛舎(ルーズバーン) ・パドック ・乾草舎 ・乗用トラクタ(50ps)外  (その他) ・堆肥舎を活用した堆肥生産とその草地への利用還元 ・省力的多頭飼育技術と肥育技術の高度化による収益の確保	・複式簿記記帳の実施 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理	・家族労働の作業分担制 ・臨時雇用活用による省力化  (家族労働力) ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人
16 肉牛専業 (乳用種ほ育成経営)	(作付面積等) ・採草地 18.0ha  (常時飼養頭数) ・ホル雄牛 480頭	(資本整備) ・牛舎(ルーズバーン) ・パドック ・乾草舎 ・乗用トラクタ(50ps)外  (その他) ・堆肥舎を活用した堆肥生産とその草地への利用還元 ・省力的多頭飼育技術と肥育技術の高度化による収益の確保	・複式簿記記帳の実施 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理	・家族労働の作業分担制 ・臨時雇用活用による省力化  (家族労働力) ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 1人

〔組織経営体〕

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
1 水稲主体	(作付面積等) ・水稲 30.0ha ・秋小麦 10.0ha ・大豆 10.0ha ・小豆 5.0ha ・てん菜 10.0ha ・南瓜 5.0ha ・人参 5.0ha 計 75.0ha	(資本装備) ・乗用トラクタ(50ps) ・水稲育苗ハウス一式 ・乗用田植機(8条) ・自脱型コンバイン(5条) ・農舎 外 (その他) ・乾燥調製は農協施設利用 ・育苗、移植、収穫の共同作業による省力化 ・高性能機械の導入等による作業能率の向上	・複式簿記記帳の実施 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理 ・青色申告の実施	・高性能機械の導入による作業時間の短縮 (家族労働力) ・主たる従事者 5人

<p>2 畑作主体</p>	<p>(作付面積等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春小麦 8.0ha</li> <li>・秋小麦 8.0ha</li> <li>・大豆 8.0ha</li> <li>・てん菜 8.0ha</li> <li>・馬鈴しょ(生食) 4.0ha</li> <li>・馬鈴しょ(加工) 4.0ha</li> <li>・南瓜 5.0ha</li> <li>・ブロッコリー 3.0ha</li> <li>・休閒緑肥 8.0ha</li> </ul> <hr style="width: 100%;"/> <p style="text-align: right;">計 56.0ha</p>	<p>(資本装備)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クローラトラクタ</li> <li>・てん菜育苗ハウス一式</li> <li>・農舎</li> <li>・乗用田植機(6条)</li> <li>・汎用コンバイン</li> <li>・ポテトプランタ</li> <li>・ポテトハーベスター</li> <li>・てん菜移植機</li> <li>・てん菜収穫機 外</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乾燥調製は農協施設利用</li> <li>・高性能機械の導入による作業能率の向上</li> <li>・堆肥を活用した地力の維持増進</li> <li>・輪作体系の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複式簿記記帳の実施</li> <li>・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理</li> <li>・青色申告の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業の共同化等による作業時間の短縮</li> </ul> <p>(家族労働力)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主たる従事者 5人</li> </ul>
---------------	---	---	---	---

営農類型	経営規模	生産方式	経営管理の方法	農業従事の態様等
3 酪農専業	(作付面積等) ・採草地 210.0ha ・サイレージ用とうもろこし 65.0ha 計 275.0ha  (飼養頭数) ・経産牛 400頭 ・育成牛 172頭 計 572頭	(資本装備) ・育成・乾乳牛舎 ・FS牛舎 ・搾乳室 ・ふん尿処理施設 ・カーフハッチ ・スーパーハッチ ・バルククーラー ・ミルクカー ・スキットローダ ・トラクタ(100ps) ・TMRミキサー  外  (その他) ・乾燥調製は農協施設利用 ・育苗、移植、収穫の共同作業による省力化 ・高性能機械の導入等による作業能率の向上	・複式簿記記帳の実施 ・パソコンによる経営計画、労務、財務、ほ場管理 ・青色申告の実施	・高性能機械の導入による作業時間の短縮  (家族労働力) ・主たる従事者 5人 ・補助従事者 5人

(注) 1 組織経営体とは、複数の個人又は世帯が、共同で農業を営むか、又はこれと併せて農作業を行う経営体であって、その主たる従事者が他産業並の労働時間で地域の他産業従事者と遜色ない水準の生涯所得を行い得るもの(たとえば、農事組合法人、有限会社の他農業生産組織のうち経営の一体性及び独立性を有するもの。 )。

2 組織経営体においては、その前提となる労働力構成を主たる従事者の人数として記入するものとする。この場合、上記の経営指標で示される農業経営の所得目標は、主たる従事者が目標とする所得の額が第1で掲げた目標に到達することを基本とする。

3 営農類型毎の農業所得には、水田農業構造改革に基づく産地づくり交付金を含める。